

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	8 西本 政之	<p>1 おくやみ窓口の設置について</p> <p>(1) 死亡に伴う各種届出について、一括して手続きができる専用窓口を設置せよ。</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>(1) 特徴のある返礼品を設定してはいかがか。</p> <p>3 特別支援学級について</p> <p>(1) 来年度から新たに目に障害をもつ児童が入学を希望するという話を伺った。どのような支援を行うのか。また、受け入れ体制は整っているのか伺う。</p>
2	質問 (一問一答)	1 梅野 智恵子	<p>1 本市保育園の運営方針について</p> <p>(1) 新たな民間保育園または認定こども園誘致について、本市として事業者に対しどのような支援体制を今後行っていくのか、また事業開始日が令和3年4月からとなっておりますが、開園が確実にその時期に間に合うスケジュールとなっているのか、お伺いいたします。</p> <p>(2) 町・市の公立保育園から民営化された保育園が徐々に増えつつある傾向から、現在老朽化しているあすなる保育園をはじめとした5つの市運営保育園も今後民営化または閉園となる見通しが現時点であるのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 10月に施行される幼児教育・保育の無償化により今後さらに高まることと思われる保育ニーズ、また新たな施設誘致により保育士が不足することが想定されますが、本市の今後の見通しと引き続き保育士の確保をどのようにお考えか伺います。</p> <p>(4) 現在、民間保育園または認定こども園のうち、アリスこども園、エンジェル保育園、はくさん保育園、つばきこども園、ヴィテンSMCこども園の5つの保育園に男性保育士が1人ずつ働いております。保育士の仕事は女性という先入観がまだまだ強い現状をふまえ、市として今後積極的に男性保育士の採用を呼び掛けることについて本市の見解をお伺いいたします。</p> <p>(5) 市運営の御経塚保育園の遊具が老朽化により撤去された状態が続いておりますが、遊具設置について市の方針はどうお考えか。また、他の市運営園でも遊具設置の要望がないのかお伺いいたします。</p> <p>(6) 市の園庭遊具の設置バランスを考慮した上で新しい遊具を設置していただけるのかお伺いいたします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
3	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 「置き勉」解禁の実態について</p> <p>(1) 本市の各小中学校における教材等の「置き勉」の現状と、子どもたちの現在の体調について伺う。また、今後の対応等についても伺う。</p> <p>2 病院めぐりのバス路線開拓について</p> <p>(1) 本市を出発地点として病院めぐりのバス路線を民間参入で開拓してはどうか伺う。また、石川中央都市圏における交通政策として議題に取り上げてはどうか伺う。</p> <p>3 街角ベンチを設置し、高齢者が安心して歩けるまちづくりを推進せよ</p> <p>(1) 高齢者が安心して歩けるまちづくりを推進することが、安全で、暮らしやすいまちであり続けるために必要と考えるが、市長の考えを伺う。また、本市の歩けるまちづくりに向けた今後の取り組みについて伺う。街角ベンチを設置してはどうか。</p> <p>4 高齢ドライバー対策について</p> <p>(1) 急発進の未然防止装置の設置補助導入の考えがないか伺う。</p>
4	質問 (一問一答)	12 早川 彰一	<p>1 市の交通環境について</p> <p>(1) 市制施行後8年を経過し、人口も6千人の増加を見ている。それに伴い交通量も増加し交通事故の懸念がある。特に右折レーンのない箇所で渋滞していることが多いと思われる。 そのため信号が変わってからや、強引な右折が事故を起こす可能性が高い。 町内会などから要望を受けている箇所についてを調査し、改善を求める。</p> <p>2 消費税率引き上げの影響について</p> <p>(1) 市内の公共施設において今度の消費税率引き上げによる使用料の改定はあるのか。</p> <p>(2) 野々市市民の足として100円で定着しているコミュニティバス“のっティ”の運賃について改定はあるのか。</p> <p>3 児童生徒数の増加に対応した教育の施策について</p> <p>(1) 小学校の児童数が増加しているが、野々市小学校の改築時に迫り、3校が県内有数の児童数となっている。 入学式、卒業式も支障がある。 新校舎建設となると建築費もさることながら、校区割りにも時間がかかると思われる。 現在は増築などで対応しているが、いずれ限界となる。また、このことは中学校でも同様である。現在2校の中学校もそれぞれ限界に近づいているのではないかと。 今後の学校施設の建設について方針を伺う。</p> <p>(2) 学校が大規模化することによる教育力の低下があってはならないし、また、先生の負担の増加もあってはならない。 これから野々市で子育てをしていきたいと考えている方々にも、安心してもらえる教育施策が望まれる。今後の方針を問う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	2 朝倉 雅三	<p>1 学校における公会計化について</p> <p>(1) 本年7月31日に文部科学省より給食費などの学校の徴収金について学校・教師の本来業務ではない。徴収管理業務は地方自治体の公会計で行うよう通知が出されております。本市においては、導入時期・徴収方法などどのような対応を考えているか、お伺いいたします。</p> <p>2 グリーンベルトについて</p> <p>(1) 本市において、グリーンベルトはカレード周辺、カミーノ周辺及び押野1丁目地内など、限られた箇所には敷設されておられません。グリーンベルトの有効性について認識はあるか伺います。</p> <p>(2) グリーンベルトを敷設した市道において、車両は歩行者通路と認識しやすく効果が期待できると思われまます。高齢者だけでなく子供たちの安全確保の観点からも市全域にグリーンベルトを推進すべきと考えまます。数年度にわたる敷設計画を作るべきと考えるが、市長の所見をお伺いしまます。</p> <p>3 P F I について</p> <p>(1) 本市において、P F I で建設した物件数、各物件の年間支払額・残存契約期間・未払い額について伺います。</p> <p>(2) P F I で取得した建物のメンテナンスについて、S P C、市のどちらが行っているのか伺います。</p> <p>(3) P F I 契約満了後について、再契約や入札による業者選定が考えられますがどのような対応を検討しているのか伺います。</p> <p>(4) 毎年4月広報紙において、債務残高を公開しておりますがP F I 関連の債務残高についても、公開すべきと考えるが市長の所見をお伺いしまます。</p> <p>4 営繕担当について</p> <p>(1) 先日、相撲場に伺う機会があり、鉄骨塗装が剥げておりメンテナンス不足ではないかと思われまました。市が管理する建物が多数にわたる現在、担当部署に横くしを通す営繕担当が必要と考えまます。市長の所見をお伺いしまます。</p> <p>5 防災訓練への小中学生参加について</p> <p>(1) 毎年の防災訓練において、小中学生の参加が少ないように思いまます。市内一斉清掃の折は学校長をはじめとして教員の皆様方の指導もあり多くの小中学生が参加いただいております。防災訓練においても、小中学校との連携が必要と考えまますが、市長の所見をお伺いしまます。</p> <p>6 企業版ふるさと納税について</p> <p>(1) 平成30年度における、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）をいただいた納税社数・納税総額について伺いまます。</p> <p>(2) 本年12月税制改正において、現在の企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）が改正されまます。現行は損金算入3割、税額控除3割となっておりますが、改正では税額控除を3割増額し税額控除を6割とし、軽減幅を9割に広げるとのことでありまます。引き続き納税いただけるよう、企業への働きかけを推進する予定はないか伺いまます。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
6	質問 (一問一答)	15 岩見 博	1 幼児教育・保育の無償化にあたって	
			(1)	<p>幼児教育・保育の“無償化”がこの10月から実施予定ですが、国の基準月額4500円の副食材料費は公的給付の対象から外され、保育施設が実費徴収することになる。国は“無償化”にともない、生活保護世帯、第3子以降に加え、年収360万円未満の世帯を副食材料費の免除対象としましたが、年収360万円超の世帯は新たな“負担”となる。保育においてもどの子どもも同じであり、新たな負担とならないよう市で補助する必要がある。その考えはないか。</p>
			(2)	<p>360万円を超える世帯であっても一人4500円、二人で9000円の負担は決して低い負担とはいえない。これまで滞納が発生しても直ちに認可保育所の運営費に影響はありませんでしたが、10月からは食材費の不足という形で給食に影響を与えることになる。内閣府は、副食材料費の実費徴収化を機に、滞納がある世帯の保育の利用を中断する可能性を示唆しているが、子どもにはどうしようもない事情の責任を子どもに負わせるものであり、働く女性にも影響を与えることになる極めて重大な問題である。市は、保育の実施義務を負う立場から、子どもが困ることのないように対応すべきである。</p>
			(3)	<p>副食食材の徴収額を4500円とする一方で、実施直前の8月22日に内閣府が自治体に送付した「10月からの特定教育・保育の費用告示案」で、公費負担分の保育単価を、副食費分として5090円、物価上昇を考慮すると5188円減額することが新たに分かった。差額は施設事業者が負担することになるのか。</p>
			2 手話言語等障害者コミュニケーション条例の対応について	
			(1)	<p>今年4月1日施行となった野々市市手話言語・障害者コミュニケーション条例では、ろう者にとって手話は、日本語、英語などによるコミュニケーションと同じで、生活上欠かすことのできないコミュニケーション手段であることから手話を言語と定めるとともに、すべての障害者を対象として、「コミュニケーション手段の自己選択・自己決定を尊重し、社会参加を促進するとともに、多様な人と人との出会いと相互理解の第一歩がコミュニケーションであることを、すべての市民が確認し合い、一人ひとりがお互いの尊厳を大切にしようとする共生のまちづくりを推進する新しいスタートラインとするため」と、前文でうたい、制定の意義を明確にしたのは画期的なことである。条例を具現化するため、施策推進協議会を設置することになっているが、設置はいつ頃になるのか。また、設置のための調査等どのような準備作業が進められることになるのか。</p>
(2)	<p>加齢による難聴が家族や友人との会話の機会、会合出席などの外出の機会の減少など、コミュニケーション障害が起こり、それが認知症を発症する要因ともなっているとされている。厚労省も、介護予防マニュアル改訂版で、高齢者の引きこもりの要因の一つに「聴力の低下」を挙げて対策を求めている。年金生活者にとって、片耳で平均価格が15万円と高額な補聴器購入は不可能に近い。条例の第3条では、言語としての手話、要約筆記等の文字の表示、点字、音訳、平易な表現、代筆及び代読その他日常生活又は社会参加を行う場合に必要とされる補助的及び代替的な手段としての情報及びコミュニケーション支援用具等をその手段として定義付けしている。条例制定の目的、定義にそって、市の補聴器購入補助対象年齢を高齢者にも拡大できないか。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
6	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>3 会計年度任用職員制度について</p> <p>(1) 臨時特別職を除く、現在在任中のフルタイム、パートタイムで働く非常勤職員のそれぞれの人数と、派遣労働者の人数と職務内容は。</p> <p>(2) 制度導入にあたって、現在在職中の臨時・非常勤職員で勤務状況が良好で引き続き働くことを希望する人は（フルタイム勤務希望者はフルタイム勤務に）すべて任用することになるか。また、正規職員と同様の業務を行っている非正規雇用職員を正規雇用する考えは。</p> <p>(3) 法は期末手当の支給を可能としていて支給するかしないかは自治体の判断にゆだねられています。野々市市は支給されるのでしょうか。一方で、期末手当を支給する場合であっても、財源を確保するために給与や報酬などの引き下げがおこなわれるようなことがあってはならない。国への財政措置の要望と、市の対応を伺う。</p> <p>(4) 会計年度任用職員は、任期を1会計年度とされていますが、継続が必要な仕事に支障が出る恐れもあるのではないかと。国会の付帯決議は再度の任用が可能である旨を明示するよう求めています。市も再任用を認めるべきではないかと。</p> <p>4 小中学校トイレの温水洗浄便座への改修を</p> <p>(1) 小中学校の生徒用トイレが和式トイレから洋式トイレに改修が進み、この夏休み期間中に改修された野々市中学校は温水洗浄便座式に改修が行われました。今では衛生面からも温水洗浄便座式が当たり前となっていることから温水洗浄便座式でない学校から温水洗浄便座式に改修してほしいという要望をお聞きしています。すべての小中学校で洋式トイレへの改修が終わったところですが、温水洗浄便座式でない学校は早急に温水洗浄便座式への改修を進めるべきではないかと。</p> <p>5 市営墓地整備計画について</p> <p>(1) 市営墓地の実施計画を策定するための補正予算が計上されたが、市民アンケートはいつ頃まとまり公表されることになるのか。また、供用開始時期と今後の流れを伺う。</p> <p>(2) 核家族化が進み「子どもや孫に迷惑をかけたくない」といった考えが広がる中でお墓に対する考えが大きく変化してきています。こうした中でどのような市営墓地に整備していくのか関心が寄せられているところでもあります。私自身としては、宅地化が進む中での墓地ということも考慮しなければならないのではないかとおもいます。こうしたことから、実施計画策定にあたっては、石のお墓だけでなく、室内納骨堂式や樹木葬などのスペースを大きくとった墓地を検討してみてもどうでしょうか。</p> <p>6 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 今年6月12日参議院本会議において「改正子どもの貧困対策法」が全会一致で可決成立した。改正の主なポイントは、①子どもの貧困の解消に資すること②子どもの権利条約の精神にのっとり、子どもの権利が尊重されること③市区町村にも子どもの貧困対策計画の策定の努力義務が課せられたこと④教育の機会均等を図ること⑤生活の安定に資するための支援⑥貧困指標に関する研究等々。そして、⑥子どもの貧困に関する調査が全国的に実施されるよう努めることが付帯決議されたことである。これを受けて、政府は、子どもの貧困の実態を正確に把握するために統一指標を用いた全国調査を実施する方向で調整していることが報道されました。現行の政府の施策では絶対的貧困世帯、相対的貧困世帯の実態とかけ離れているということから、「実態を反映していない」という声に押されて調査を行うことになったと思いますが、子どもの貧困の実態把握なしに実効性のある抜本的対策はとれないことから今回の改正は大きな前進である。これを受けて、野々市市においても政治の責任として、近隣市町の模様眺めではなく、努力義務となっている「子どもの貧困対策計画」を策定するとともに、ここに相談に来れば関係部署との情報共有、各種制度の手続き等々、ワンストップで対応できる「(仮称)子どもの貧困対策室」を設ける考えはないかと。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	11 辻 信行	<p>1 本市のSDGs未来都市の考え方について</p> <p>(1) 県内では、白山市、珠洲市、小松市はSDGs未来都市に応募し、選ばれておりますが本市の考え方を問う。</p> <p>2 「野々市わかもの会議」について</p> <p>(1) 市長の結果報告に対する思いと、継続的な実施について問う。</p> <p>3 引きこもり問題について</p> <p>(1) 本市では、相談は年間どれくらいあるのか、また「引きこもり問題」にどのような考えを持っているのか？</p> <p>4 本市の自殺対策計画について</p> <p>(1) 引きこもり、貧困、自殺、孤独死これらの相談に関しては、関連性が高いので丸ごと相談窓口で受け付け、関係機関と連携して対応すべきではないかを問う。</p> <p>5 学びの杜ののいち カレードについて</p> <p>(1) 多目的な工房、調理スペース、音楽スタジオ等の利用稼働率を問う。フォルテとの連携活用を問う。</p> <p>(2) 憩いの広場の具体の活用を問う。</p>